

高層風資料の訂正について*

気象庁観測部高層課**

気象庁が運用する4つの高層気象観測所で方向探知機によって取得された高度角値に無視し得ない誤差が含まれており、風の計算結果に誤差を発生させていたことが判明しました。このため、下記の官署について、過去の高層風資料の再計算を行い、資料の訂正を行いましたのでお知らせ致します。訂正を行った項目は、レーウィンゾンデ観測とレーウィン観測の風観測点資料(特異点を含む)及び指定気圧面資料の地上観測値を除く風向、風速、月平均風速、成分風の月統計値(合成風を含む)です。

官署名	角度の誤差量	資料訂正を行った期間
根室	-1.23°	1994年11月16日～1995年 3月 7日
八丈島	-0.39°	1992年11月16日～1995年 7月31日
米子	+0.34°	1992年 2月21日～1995年 6月30日
潮岬	-0.98°	1993年 1月21日～1995年 6月30日

(注) 角度誤差に伴う風速誤差の大きさは、風速の大きさ、ゾンデの高度角、ゾンデの高さ、上昇速度によって異なるため、一概には表し得ないが、最も誤差が大きかった潮岬の冬季(1月)の最大風速域付近(200 hPa)で12～13 m/s(月平均値)であった。

なお、上表のうち根室、潮岬の角度の誤差量は資料訂正を行った期間内のうちの最大値を記した。

日頃、高層資料を利用して頂いている皆様には、この誌面をお借りしてお詫び申し上げるとともに、今後同様な事態が発生しないよう努めますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

なお、訂正資料に関する問い合わせ先、提供形態、対応期間は下記の通りです。

・問い合わせ先

気象庁観測部高層課資料係

(気象庁代表：03-3212-8341 内線4199)

・提供形態(貸与)

訂正資料を収録した磁気テープ(2400フィート)
高層月報形式のMS-DOSテキストファイルを収録したFD

・対応期間

平成8年8月末日まで

* On correction of upper air winds in Aerological Data published by JMA.

** Aerological Division, Observations Department, Japan Meteorological Agency.

© 1996 日本気象学会